

ピクサー・ムーヴィー『レミーのおいしいレストラン』に見る現代の労働表象

上原 正博（専修大学法学部教授）

普段わたしたちが、何気なく、エンターテインメントとして観ている映画の世界にも、おそらくは現代社会のなかで生きているわたしたちの姿が描かれています。そのような様（あるいは解釈）を、文化的産物としての映画やアニメーションのなかにみてみようというのが、本講演の趣旨となります。

今回の講演では、ディズニー配給のピクサーアニメ『レミーのおいしいレストラン』を一例に取り上げ、そこに描かれる世界の背後に、現代のアメリカに見られる（そして日本でも見られるであろう）労働の表象を見ようとするものです。この物語は一見、アメリカン・ドリームを描いたもののように見えるのですが、実は、そのような夢というイデオロギーを支える仕組みを露わにしている作品とも考えることができます。そのような点をみなさんとともに考えつつ、考察していきたいと願っています。